

## 公立大学法人岩手県立大学の第四期中期計画の変更（案）について

## 1 第四期中期計画変更の趣旨

新型コロナウイルス感染症の動向を注視し、計画期間（令和 5 年度～令和 10 年度）中に目標値を設定することとしていた評価指標について、5 類移行後の実績等を踏まえ、一部を変更しようとするもの。

## 2 変更の理由

現中期計画策定時、国際交流等に関係する指標について、新型コロナウイルス感染症の影響により、適切な目標値を設定することが困難であったもの。

当該感染症の法的位置づけが令和 5 年 5 月に 5 類感染症に移行し、法律に基づき行政が外出自粛要請等の様々な要請・関与をしていく仕組みから、国民の自主的な取組をベースとした対応に移ったもの。

そのため、5 類移行後の令和 5 年度及び令和 6 年度に係る本学の国際交流の活動実績を踏まえ、新たに国際交流に関する評価指標の目標値を設定する中期計画の変更をしようとするもの。

## 3 変更の内容

## 【評価指標の変更】

## II 2 (1) イ 国際社会への貢献

項目No.	現行の指標	変更後の指標	実績値
(12-1)	語学教育及び国際教育に関する学生アンケートの満足度	語学教育及び国際教育に関する学生アンケートの満足度：毎年度 90%以上	R5：90.9%、R6：92.0%
(12-2)	国際文化交流事業及び留学制度を活用する学生数	国際文化交流事業及び留学制度を活用する学生数：計画期間終了時の累計 600 人以上	R5：79 人、R6：117 人 小計 196 人
(12-3)	国際学会発表件数	国際学会発表件数：計画期間終了時の年平均 10 件以上	R5：7 件、R6：13 件
	国際交流協定機関との人的交流実績数	国際交流協定機関との人的交流実績数：計画期間終了時の年平均 派遣 30 人、受入 10 人以上	(派遣)R5：51 人、R6：24 人 (受入)R5：10 人、R6：12 人

上記評価指標は、現計画において、「(12-1)～(12-3)の評価指標については、新型コロナウイルス感染症の動向を見つつ、令和 5 年度以降の実績等を踏まえ、計画期間中に目標値を設定する予定」としていたもの。